

第37回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第37回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成23年 1月21日（金） 18:00～19:29	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、國領弘治、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久 (木内喜久子、坊忠一、古海忍、山口清和、山口裕司委員は欠席)
	事務局	息田部長、阪本次長、吉住参事、堀課長、村田主幹、森嶋補佐、平木主任、仲
	コンサル	大木雄介
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料77	第36回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）
	資料78	クリーンセンター建設候補地の選定について（報告案）
会 議 内 容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第36回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) クリーンセンターの候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（森嶋）	● 今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の第37回目の会合でございます。最後までよろしくようお願い申し上げます。
息田部長	「部長挨拶」
事務局（森嶋）	● 本日の出席状況でございますが、委員総数21名のうち12名ご出席頂いており、委員会は成立していることをご報告申し上げます。
渡邊委員長	1. 議 事
事務局（森嶋）	● 今日は奈良市長さん側に、道路問題について、前面に立ってやって頂こうという話をするために、資料準備してもらいました。
	「資料の確認」
渡邊委員長	(1) 第36回策定委員会議事録概要版の確認
事務局（森嶋）	● 議事録の概要版で何か事務局に修正等が入ってますでしょうか。
	● 現在のところ、特に頂いておりません。
渡邊委員長	(2) クリーンセンターの候補地選定について
	● 傍聴人並びに報道関係者への資料提供につきまして、委員の方にお諮りしたいと思っております。資料78を今からお配りしようと考えてます。クリーンセンター建設候補地の選定についての報告案は、本日の検討資料として作成したもので、確定ではございません。市長に報告する前に公表すべき資料でもないの、傍聴に来て頂いている方にはお渡ししますが、会議が終わりましたら、回収させて頂きたいと思っております。
	ではこれを少し長いですが読んでいきます。
	クリーンセンター建設候補地の選定について（報告案）奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会では、平成18年2月の第1回策定委員会以来、38回の委員会を開催し、クリーンセンターの移転候補地選定、並びに施設整備の在り方について検討を行ってきました。その中で、特に重要項目である候補地選定について、慎重に協議・検討を重ねた結果、クリーンセンター建設候補地として、下記の2カ所もしくは4カ所を選定しましたので報告します。今後、奈良市においては、本報告の検討結果を尊重して頂き、周辺住民の方々の理解と協力を得ながら、早期にクリーンセンター建設用地を決定されることを要望します。
	引き続き、本委員会では、地域振興や賑わいのあるまちづくりに貢献できる魅力ある施設・循環型社会形成に寄与する施設の建設をめざし、施設整備のあり方、余熱を利用した還元施設や周辺の環境整備などについて、協議・検討を進め、最終報告書として取りまとめ、報告することにしていきますので

申し添えます。

1. クリーンセンター建設候補地。候補地番号⑥-1 川上町、中ノ川町地内、⑥-2 中ノ川町、東鳴川町地内、⑨-1 東鳴川町、法用町、中ノ川町、平清水町地内、⑨-2、中ノ川町、生琉里町地内。参考資料1「クリーンセンター建設候補地の位置図」を参照してください。

2. 付帯意見、別紙1のとおり

3. 選定経過及び選定理由 別紙2のとおりであります。

(別紙1) 付帯意見

1 現在のごみ焼却施設は老朽化が進行しており、また新施設の建設に要する期間を考慮すると、早期に周辺住民との合意形成を図り最終候補地を決定して施設建設に着手されることを望みます。

2 奈良市東部地区自治連合協議会から申入れのあった道路は、東部地域住民の生活道路であり、クリーンセンターが建設された場合の増加する交通量を勘案すれば、何らかの渋滞緩和及び交通安全対策が必要であると考えます。このため、奈良市において関係機関と協議・調整を図りながら、道路改良整備等の方策について地元と十分話し合いを行い、地元住民の協力が得られるよう積極的に取り組んで下さい。

3 当委員会は、今後もクリーンセンター建設用地の最終決定に向け、地元住民の合意が得られるよう奈良市と共に地元との話し合いに参加し、候補地選定の経緯等についてご説明をいたします。また、当委員会は地元の皆様のご意見を反映したクリーンセンター建設計画の策定を進めていくために、地元住民のご理解が得られるならば、是非とも委員会に地元代表者の参画を頂きたいと考えております。

(別紙2) 選定経過及び選定理由

奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会では、クリーンセンター建設計画の策定について、平成18年2月の第1回策定委員会以来、38回の委員会を開催し、協議・検討を重ねてまいりました。その中で特に重要な検討事項であるクリーンセンターの建設候補地の選定については、奈良市の全域を対象として、候補地区の絞り込みを進め、平成19年11月の「中間報告」では、15カ所の候補地を選定し報告しました。その後平成20年4月には、住宅地や活断層の近接状況・土地の形状などを考慮して9カ所に絞り込みを行い、この候補地を対象に2度にわたる、地権者からの用地募集を行いました。この過程を経て、9カ所の候補地について、①環境への影響度、②経済効率、③用地取得の難易度等の3項目について、総合評価により比較し、平成21年11月13日に開催した第29回策定委員会で、上位2カ所及び、やや下位の2カ所の計4カ所の候補地を選定してご報告しました。

4カ所の候補地が東部地域に集中したことから、奈良市東部地区自治連合協議会から幹線道路の整備が重要であるとする申入書を頂き、当委員会では

<p>田中副委員長</p> <p>吉岡委員</p>	<p>周辺住民の意見・要望を踏まえながら最終候補地の選定作業を行うべきと考え、道路部会を設けて実現可能な方策について検討を進めてきました。そのような中で今後、道路問題の具体的な改善策を提案し、周辺住民の意見・要望を伺いながら建設計画を進めていくためには、事業者である奈良市が前面に立って対応する必要があると判断し、ここで報告することに至りました。尚、候補地選定の流れについては、参考資料2「候補地区の選定方法について（選定フロー図）」を参照してください。</p> <p>ここまでの選定経過及び選定理由の部分ですが、検討事項として、私から本日、皆様にお諮り申し上げたいのは3点であります。現在4カ所が残っていますが、4地点のままでもいいのか、あるいは2つに絞るかどうかということ。4カ所のままおいておいた理由は、我々が気が付かない、気が付いていない、ここはいいのではないか、あるいはここはどうしてもだめじゃないかという理由がもしもありましたら、何らかの形で情報提供がされるのではないかと期待を込めて、しばらくおいておいた訳であります。平成21年11月13日の4カ所絞り込み以降、順位を逆転するような、問題の提起というのは、今まではなかったように感じてます、1年3カ月経ちましたので、2カ所に絞ってもいいかなということ、現在考えております。そのためには、現地確認等も提案したいと考えている次第であります。</p> <p>参考資料1は図面で、⑥-1、⑥-2、⑨-1、⑨-2の位置図がここに記載されております。</p> <p>参考資料2は、選定フロー図が①からずっとありまして、現在は⑩が終わって⑪をまだやってないというところでございます。ここで奈良市が前面に立って道路の安全改修等を含めた話し合いをしたいと。そうでないと先に進めないだろうということでございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4カ所に絞ったあと、1年経過してしますので、4カ所のみでなく、もう一歩突っ込んで2カ所に絞るべきだと思います。それで委員長が、今おっしゃったように、順位を逆転するような問題提起はなかったと思うんです。その間待ってましたがなかったとすると上位2カ所、やや下位の2カ所で、じゃ上位2カ所にすればということになるんですが、それもちよっと単純なので、分析的に点数を付けただけで、決めていいのかという問題がありまして、各委員が分析的評価だけじゃなくて、もう一回現地を確認して、総合的な評価を経た上で、2カ所に絞ったらいいと思います。 ● 私も4カ所に対する順位がどうだとかいう話は一切聞いておりません。4カ所では絞り込んだことにはなりませんので、2カ所ぐらいにはもう一段絞り込まなきゃならないなと思ってます。現地も見て、委員相互に定量・定性両面から、総合判断したらどうかと思います。それと、フロー図の⑫番ですけども、候補地区周辺住民との意見交換。これは今の段階ではちょっと難しいのではないかと考えてます。道路問題が障害になってますから。これは最終候補地区選
---------------------------	---

<p>渡邊委員長</p>	<p>定の前の作業としては、ちょっと無理なことかなあとと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ⑫番は奈良市役所が前面に立ってからで、ここにまだ入ってないので、先程、⑪と⑫の間じゃないかなと、ちょっとあいまいに。⑫で周辺住民と意見交換を、今ここでしましたとは言えないですね。入れるんだったら、現時点は⑪と⑫の間というふうに入れるかですね。
<p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● これ自治体の長である市長にお渡しする物ということですね。1行目の報告の最後の案という字は、一番上にあってしかるべき言葉で、(報告)でいいかと思います。また、もう少し敬語を配慮して使っていくべきではないかと思います。それと委員会が必死になって、こういうものをまとめたという意味で、例えば4行目あたりの言葉、申し上げますと、その中で特に重要項目である云々というのは、もう少し何か緊張したような表現ができないのかとか、その下中間くらいの記のところの前のところで、報告することに致しておりますの、していますのでは、おりますので申し添えますとか、それから、この文章の本文の付帯意見と、それから選定経過の2枚目と、これ順序が反対だと思うんです。そういう意味で、一枚目の文章3のところの、選定経過および選定理由は、選定経過とその理由というような形式的なことで、申し訳ありませんが、そういうところ。それから付帯意見の1番の〇〇を望みますということも、もう少し何か変えること。それから2番目のところの、必要であると考えますというところは、考え方を断定するような表現に変えられないかとか。それから3番目は丁寧にご説明いたしますとか書いてますから、それとつろくするような表現で例えば3番の最後のところは、考えておりますというような曖昧やなくて、考えている次第ですとか決定的な表現とか、もう少し統一されてお出しする。それからこれは市長に出すときはどんな体裁にするんですか？勿論袋とじかにするんですか？というところ。それから参考資料の1と2は今は検討資料ですからA3であります、もし全部A4にするならば、これもA4で一枚一枚で、後ろにちゃんと付録してつけてというような体裁も、ひとつお願いしたいと思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 敬語ですね。まず一番最初の案という言葉は、上にのつけるというのは、しごくもともとであります。(案)で、クリーンセンター建設候補地選定について(報告)とするのが、実際は正しいかと思います。特に重要項目であるという、ここをもう少し強調してということですね。
<p>笹部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の議論で、まず最後に書かれている検討事項、これをどうするのかを決めて、その上でして頂いたほうがええんやないかと思いますが。私の意見ですけど、この委員会に付託された趣旨からすると、できれば1カ所が一番いいということになるんですね。4カ所ではあまりにも多いので、1ないし2に目指さんといかんと思います。もう一度、その4カ所をよく見てみて、その上で他の点も何かあれば、考慮して総合的に順位を決めるという作業が必要だろうなと思ってます。だから現地は、是非確認に行きたいと思っております。

佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 4カ所に絞った資料を見てるんですが、4カ所で総合評価、環境面、経済効率、用地取得の難易度と大きく3つ、また細かく小項目から選びましたから、そういうのずっと点数で評価していくと、4つが他のところと比べると点数が優位に高いと。取り分けそのうちの⑥-1と2が高いということだった訳ですが、この段階からここまで来て、私の認識でも特段この4つに代わるものは出てないと思いますので、できるだけ速やかに、もういっぺん現地を見た上で、1カ所ないし2カ所に絞る作業をやるべきだと思います。
笹部委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 先程の委員長の質問の⑫については、実施できてないので、空白にしておくのが適当だと思いますけど。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● ここには、市長への中間報告。今回の報告が今どこかというのは、いわゆる We are here のインジケートになってないので、それを⑪と⑫の間に付けるか、あるいは⑪のあとに⑫じゃなくて、現在ここっていうふうに入れるか、そういったのがあったほうがいいかなと思うんですが。もう終わっちゃいましたと思えてもいけないので。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● この表はこの表で正しいと思いますので、現時点が⑪と⑫の間だということ、現時点はここだということ、分かるように挿入するということでしょうかと思います。それと気になっているのは、全体の報告案はこれでいいと思ってるんですが、一番頭の部分で、引き続きのところ、本委員会では地域振興、にぎわいのあるまちづくりへの貢献、魅力ある施設、循環型社会形成に寄与する施設の建設を目指し、施設整備のあり方、余熱を利用した還元施設や周辺の環境整備などについて、協議・検討を進め、最終報告書として取りまとめ、報告することにしてあります。後段はこれでいいと思うんですが、頭の方の地域振興やにぎわいのあるまちづくりに貢献できるというのは、果たしてそこまでいけるのかなと、この施設で。特ににぎわいのあるというのは、中々現実的に思えないので、ちっともにぎわいのある施設じゃないじゃないかと、言われかねないので、地域振興に貢献できるというのは、そうだと思うんです。私、違和感を感じるんです。後、循環型云々というのは、これはこの通りで正しいと思うんですが、にぎわいのあるということまで踏み込んで言うのはどうなのかなという気が致します。
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> ● これはそういう意味で取らなくて、むしろ舞鶴とかに見学に行きまして、人が来たくするような施設。単に焼却中心じゃなくて、リサイクルとか循環型の具体的なものが動いておって、そこへ人が来ると、そのイメージと捉えましたんで、むしろそれの方がいいんじゃないかと。今までの施設はきれいに見えますけど、寂しい感じしますから、そういう施設じゃありませんよという意味で、入れたほうがいいんじゃないかと思ってます。 リサイクルプラザを、あちこちに造ってるんですけど、そこは主に市民の方が来て、環境教育の施設であるとか、やっているところがあるんですよ。ところが人が来てもらうコンセプトで、どう造ったらいいかが分かってません

事務局（吉住）	<p>から、施設は立派ですけども、人が来てない施設、割と多いですよ。一步工夫して、たくさん人が来るような施設、ぼつぼつ出来始めてるんです。決して、建物だけがいい施設と違うよということを地元の方に分かってもらうのが正にポイントやと思うんですよ。</p>
事務局（吉住）	<p>● 参考資料2のフローは、最終候補地の選定、⑫番で、地元の方と意見交換して、最終候補地を1カ所に絞るというフローで、最終形のフローです、それで今現在策定委員会で、検討結果のフローとするならば、この⑪番までは正しいんですけども、⑪番ののち1年近くかけまして、道路部会等を設けまして、道路問題について検討を頂いて、これを⑩番のように、横に記載して、間へ入れていくと。⑬番目に最終候補地への絞込みということで、今ご意見等ありました、総合評価による比較とか、例えば現地視察等によって、絞込みの検討を行いました、最終的に⑭番で候補地の選定ということで、候補地区を2カ所でしたら、2カ所を選定して奈良市に報告と。例えば⑦と同じように報告日の日付を載せるという整理方法も、一つの方法かなという提案させて頂きました。</p>
渡邊委員長	<p>● 皆さんいかがでしょうか。道路部会の件をはじめに入れるべきでしたね。それから現在、この表現であれば、今回市長にお渡しする資料が最後のとこまできてますよということで分かるので、いいかとも思いますが。総合評価と現地視察という言葉も先程も出たんですけど、総合評価というのは、今までも定量的な評価はすでにしてますので、それに加えて、何の評価をしたんですかと聞かれた場合、現地視察だけじゃまずいでしょうか？</p>
事務局（吉住）	<p>● 今パワーポイントに載ってる⑬までですけど、候補地を4カ所に絞るにあたって、上位2カ所、下位2カ所というお話がありましたから、総合評価点の比較ということで書きました。それと併せて現地視察の2つにより、改めて委員会で検討頂いて絞り込んだという趣旨の文章にしました。</p>
渡邊委員長	<p>● 説明できればいいんです。現地視察をして、1カ所か2カ所かは、今度視察の日に、皆で決めるという形でいかがでしょうか？</p> <p>それと土地開発公社の話、1年少し前の11月の時点で、土地の取得し易いかどうかで、点が高い低いという計算、そういうことをした訳ですが、土地開発公社の土地については、たまに新聞に載ったりしてるという話は聞いたりしてるんですけども、取得しづらくなったとか、そういうことはないですか？</p>
事務局（吉住）	<p>● 土地開発公社の問題は、非常に多額の含み損をかかえてるということで、将来的に土地開発公社を、どういうふうに清算も含めてしたらどうかということで、委員会を作られて、今現在検討されてます。ごく最近、委員会から中間報告が出まして、買収の経緯とか、どれくらいの金額で買ったとか、色んなしがらみ等も含めて出されてます。最終的に土地開発公社については、どういうふうに対応してくのか現在は検討されているところですけども。今現在候補地の中で⑥-1について土地開発公社が持ってる土地がございます。土地利用をしようとするれば、土地開発公社から買い戻しとなります。買い戻しにあたっては、</p>

渡邊委員長	<p>金利等がついてますので、奈良市としては土地開発公社から簿価で買い戻しをするということになります。只、面積が20ha近くだと思んですけども、クリーンセンター建設をすれば、20ha全域が必要かどうか精査していかなくてはなりませんので、これ以上の詳しい中身は、場所が決定してから、検討していく形になると思います。只、所有者からは既に応募を頂いてまして、買収費以外の土地の取得について、特に問題はなかろうかなと考えてます。</p>
森住委員	<p>● 委員会としては、そこは安ければいいと思うし、高ければそこはだめだというし、それは金額しだいで、我々評価は変わります。というのは、この上位2地点、やや下位2地点と言ってる、上位2地点の中では、ここは奈良市の土地だから、安いはずだということで上位にしていると思いますが、それが簿価という言葉のもとで、周辺の土地よりも高いのであれば、しかも容認できない高さであるならば、そこは下位になると思うんですよね。ですので、金額的なことがはっきりしない状態では、結論は出せないですね。あるいは、それがいつまでも分かりませんという状態ならば、避けるしかないですね。</p>
田中副委員長	<p>● そうじゃないんですよ。奈良市の所有物ではありませんけれど、公社が銀行から借りている訳ですね。それが公社が潰れたら、奈良市が債務保証をやってますからね、結局奈良市に戻ってくるんですよ。だから、帳簿上で買う形になるだけで、お金は実際動かないから、簿価で買ったら、買った人の責任を追及するのが大事であって、簿価で買ったから損をすることないんですよ。既にお金払ってしまってるんだから。</p>
三浦委員	<p>● おっしゃる通りだと思いますよ。既に行った塩漬になっているのを有効利用できて、民間から買うお金が出ないということですからね。市の立場としたら、これを利用するほうが、財政的には有利だというのは明らかだと思うんです。ただ、市がどうやって解決できるかどうかというのは、別問題なので、奈良市の方に検討を任せるしかないんじゃないですか。</p>
田中(幹)委員	<p>● 今ですね、監査委員会の方に、この選定が始まった段階で、簿価で買った場合は監査請求すると。それがあかんかった場合には、法的な手段で訴えますという予告が入ってるんです。だから、土地開発公社の土地を買う場合は、そのことも気を付けながら選定していかないとしんどいのかなと思います。今、お話がありましたように、土地開発公社を解体する場合は、結局は一般会計でツケをまわしていかなくちゃいけないという形になりますから。高いとか安いとか言うよりも、今までの負債を全部市民が背負っていかなくちゃいけないということになります。</p>
	<p>● 高い・安いは、普通の時価に照らし合わせて、買えばいいと思うんですよ。ですからこれが土地開発公社の物であるということのを考慮しないで、普通のことを買えばいいと思うんですよ。土地開発公社で、なぜ土地を買うかというのを考えたいんですけど、これは、先行取得をする。買ったらずぐに奈良市が買うべきだったんです。それを怠っていたのは、行政の責任であって、そ</p>

	<p>の責任を追及するかどうかは市民の感性ですね。市民の感性に委ねて事務的に買う。それを土地開発公社が、えらい赤字が出て、土地開発公社が潰れて、奈良市がこれをかぶって。それはそのときに三浦委員が言われたように、行政の責任を問われる。只ね、監査請求ができるどうかは、たいへん難しい点があるんですよ。しかし、それを今までほって置いたという責任はありますね。私も全く知らなかった訳ではないんですけど、顧問弁護士として、積極的なことをしなかったというのを、非常に忸怩たる思いで、申し訳ない。ですから、これは土地開発公社が所有している土地だから買い易いとか、そういうことをお考えにならないほうが。後のことは、これは行政の責任ですから、只、高く買えば、高く買ったことによって、市民的な批判はドンと出てきます。同じことだと思います。</p>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 田中幹夫先生の言われるように、時価であればいいと言うんだから、時価以下であればいい訳でしょ。只、安いのはそれで、今の委員会で議論しているところで。そんなんじゃ、ちょっと売れへんと言うかもしれないから、場合によれば買えないかもしれないけれども。時価であれば問題ないと思いますよ。
笹部委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市が既に持つて土地ですので、奈良市の側から見たらね、過去の取得についての時価と簿価が大きく違うかったら、取得についての問題点は噴出してくるでしょうけど、今のままほっておいたって、ほかの利用なんて、時価じゃ難しいんですよ。そうすると、今、奈良市が必要な施設のために使おうというのは、市にとってはプラスになることだと思うんですけどね。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● おっしゃるとおりだと思いますよ。実質的にはこれを利用することのほうが、財政的にはプラスになると思うんですね。只、ここで結末をつけることで、過去の行為の責任を問われるという怖さがあると思うんですよ。だから、結末をつけたくないっていうところじゃないんですかね。買うことによって結論つける訳ですね。今、宙ぶらりんにしてるんですよ。だから結論を出すのが怖い訳ですよ。これが財政的なプラスになるんだから、そこは責任を問われても、勇気をもって結末をつけてほしいと思います。
吉岡委員 渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 付帯意見に書いておかなくていいですか？ ● 付帯意見のところに、現地視察をして、その場所がいいと考えられたら入れましょうか。3月2日に最終的なことを決めますけど、そのときに、この土地の⑥-1について条件を書き込んでおかないと、簿価とか何とかって言葉を、我々避けて通って、⑥-1も選定に入れておきますと、あの時決めたじゃないかと、買ってよと言われる、心配がありますから、少し守りを考えておかないといけないですね。
渡邊委員長	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現地に確認に行く日程を決めなきゃいけないですが、2月半ばくらいに行きたいと思いますが、いかがでしょうか？

	<p>じゃ、2月14日で、集合は10時出発でよろしいですか？</p> <p>では、あの文章も付帯意見のところ⑥-1のことを書き込むかもしれないということ、今日議事録の方に残しておいてください。次回視察に行きまして、最終的な市長への報告の案を3月2日、次回の会議の予定ですけども、ここで審議して、市長宛に提出しようかと思っております。</p> <p>その後、市役所が文章受け取りましたって、何もすぐできないと思うので、5月半ばぐらいに、この会議を予定しておいて、それまでに地元で奈良市が説明あるいは話し合いに行くときに、この委員会がついて行くことがあると思うんですけども、公開の委員会は、5月の半ばぐらいに行つてはと考えてます。</p>
森住委員	<p>● それは奈良市にお任せしておいて、報告聞くの5月でいいですけど、その前にあるべき施設のイメージづくりは、議論はしたほうがいいと思います。だから、4月の早々にいっぺんいれたらどうです？</p>
田中副委員長	<p>● もしよろしければ、弁護士会のほうでやったときの報告書を、一つの題材として報告して頂いて、皆さんも喚起して頂けると思うんですが。お時間頂いたら、そのときの資料がありますので、お配りしてそれで議論の叩き台とさせて頂けたらなあと。</p>
渡邊委員長	<p>● では、4月27日水曜日をお願いします。その時は、奈良弁護士会にレクチャーお願いして。勉強会ですね。そしたら傍聴の方にお配りしてます資料78を回収させて頂きたいと思います。</p>
事務局（森嶋）	<p>● それでは皆様方には、長時間に渡り、ご審議を頂きまして誠に有り難うございます。尚、次回策定委員会は3月2日水曜日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせて頂きます。有り難うございました。</p>